

経営健全化計画の見直しについて

経営の健全化のための計画について

平成14年12月に実施しました、三井住友銀行の株式移転による銀行持株会社「三井住友フィナンシャルグループ」の設立に伴い、経営形態に重大な変更が生じたこと、また三井住友銀行の「経営の健全化のための計画」(平成12年12月公表)が策定以来2年を経過したことから、「経営健全化計画の見直しについての基本的考え方」(金融再生委員会、平成11年9月30日付)および「金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律施行令」第1条の2に基づき、三井住友銀行の「経営の健全化のための計画」を三井住友フィナンシャルグループの新計画に変更します。

当社は、お客さまに、より一層価値あるサービスを提供し、お客さまと共に発展する、事業の発展を通じて、株主価値の持続的な増大を図る、勤勉で意欲的な社員が、思う存分にその能力を発揮できる職場を作る、という3点を経営理念とし、グループ収益力の向上と財務体質の強化を図り、株主価値の向上を実現していきます。

新計画において、平成18年度までの業績計画、業務再構築のための方策等、収益力向上と財務体質の強化のための具体的な計画を示しています。

業務再構築のための方策等

三井住友フィナンシャルグループは、お客さまのニーズを的確にとらえ、そのニーズに対してグループ総合力の発揮により質の高いサービスを提供することによるビジネスボリュームの拡大、リスク・リターンの上昇、収益性の高い分野への経営資源の傾斜配分等を通じた資本効率の向上、ローコストオペレーションの徹底によるコスト競争力の強化、の3点を基本方針として、経営の合理化を進めてきています。

このため、これまでも「合併効果の早期実現」を達成したうえで、さらに、商業銀行業務のあり方を抜本的に見直す「業務改革」、有力なグループ会社の潜在力を引き出し、商品・サービスと財務体質のレベルアップを図る「グループ経営改革」、という2つの改革に取り組んでおり、今後、この取り組みをさらに加速するため、各種施策を展開していきます。

これら「経営の健全化のための計画」を適切に履行することにより、剰余金を積み上げ、三井住友フィナンシャルグループおよびその100%出資子会社合算の剰余金を平成18年度末には2兆6,000億円(うち利益性剰余金1兆7,000億円以上)とし、公的資金1兆3,010億円を大幅に上回る水準を確保する見込みです。

さらに、財務内容の健全性および業務の健全かつ適切な運営の確保のための方策として、金融再生プログラムの趣旨を踏まえ、平成16年度末における不良債権比率半減に向けて、引き続き積極的なオフバランス化等を実施するなど、財務内容を強化していきます。

平成18年度までの業績計画（三井住友銀行単体）

（単位：億円）

| | 平成15年3月期 実績 | 平成16年3月期 計画 | 平成17年3月期 計画 | 平成18年3月期 計画 | 平成19年3月期 計画 |
|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 業務粗利益 | 17,606 | 16,000 | 16,000 | 16,750 | 18,000 |
| 経費 | 6,470 | 6,000 | 6,000 | 5,950 | 5,900 |
| 実質業務純益(注1) | 11,136 | 10,000 | 10,000 | 10,800 | 12,100 |
| 与信関係費用(注2) | 10,745 | 6,500 | 4,500 | 3,000 | 3,000 |
| 株式等関係損益 | 6,357 | 1,100 | 0 | 0 | 0 |
| 経常利益 | 5,972 | 1,700 | 4,800 | 7,100 | 8,400 |
| 当期利益 | 4,783 | 1,000 | 2,500 | 4,000 | 4,700 |
| OHR | 36.74% | 37.50% | 37.50% | 35.52% | 32.77% |

（注1）一般貸倒引当金繰入前の業務純益を表示しています。

（注2）不良債権処理損失額および一般貸倒引当金繰入額を表示しています。

[参考：三井住友フィナンシャルグループ]

（4社合算ベース：三井住友銀行＋三井住友カード＋三井住友銀リース＋日本総合研究所）

（単位：億円）

| | 平成15年3月期 実績 | 平成16年3月期 計画 | 平成17年3月期 計画 | 平成18年3月期 計画 | 平成19年3月期 計画 |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 合算業務純益(注) | 11,578 | 10,480 | 10,580 | 11,480 | 12,880 |
| 経常利益 | 5,637 | 2,090 | 5,310 | 7,730 | 9,130 |
| 当期利益 | 4,533 | 1,220 | 2,790 | 4,360 | 5,130 |

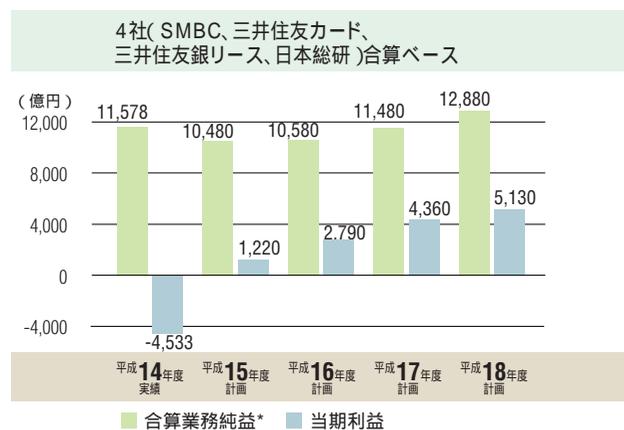
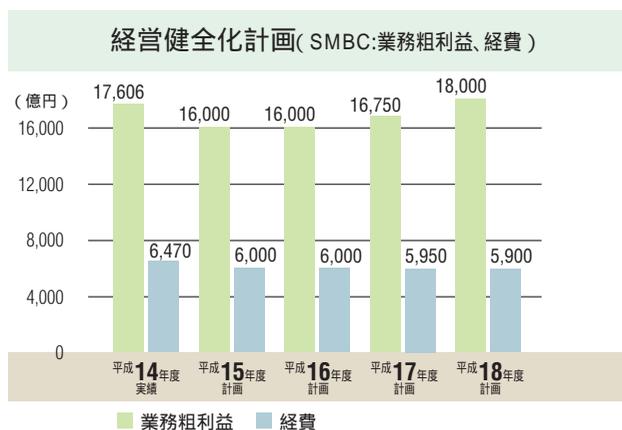
（注）三井住友銀行の業務純益および三井住友カード・三井住友銀リース・日本総合研究所の営業利益を合算しています。

剰余金の積み上がり状況

（単位：億円）

| | 平成15年3月期 実績 | 平成16年3月期 計画 | 平成17年3月期 計画 | 平成18年3月期 計画 | 平成19年3月期 計画 |
|----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 合算剰余金(注) | 10,130 | 15,906 | 17,983 | 21,799 | 26,334 |
| その他資本剰余金 | 4,139 | 8,985 | 8,985 | 8,985 | 8,985 |

（注）三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、三井住友カード、三井住友銀リース、日本総合研究所の剰余金合計



* 合算業務純益：SMBCの業務純益＋他3社の営業利益